

遺伝カウンセリングの最前線

⑤ 耳鼻咽喉科疾患—遺伝性難聴

北大病院臨床遺伝子診療部

森田 真也 (耳鼻咽喉科)

先天性難聴の発生頻度の原因による難聴と言われ、1千人に1人と推定されています。遺伝子によっており、先天性疾患の難聴のうち約80%が常染色体劣性遺伝形式を取る疾患の一つです。原因と考えられており、この因には様々なものがある場合、両親のほとんどが分かっており、それが難聴者ではありません。原因(こと)に外耳・中耳・内耳などの部位に障害を受け、異なる聴力型や経過を経ることが知られています。

近年の調査では、先天性難聴の原因となる遺伝子は、健聴の人でも50〜60%は遺伝子が関与しているものと推測されています。また、約25%はウイルス感染症や外傷、薬剤など非遺伝性

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

現在、難聴に関連して異なっている血液検査を施行すると推測されている遺伝子は、約100種類あり、日本人の難聴者から発見されたと考えられています。

今後医学の発展に伴って、難聴に関連する遺伝的な変異を効率よく解析することができるようになります。

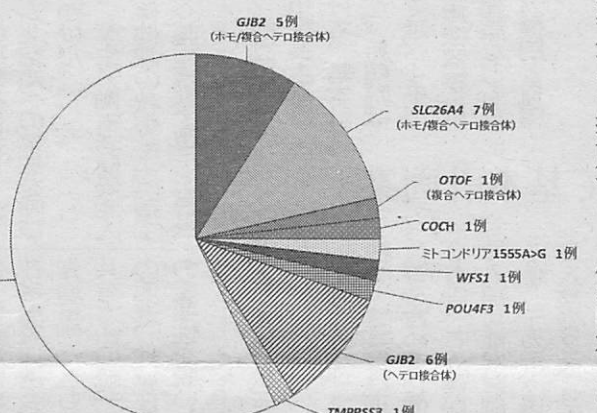


図. 当科における遺伝学的検査結果

例、TMPRSS3遺伝子変異(ヘテロ接合体)と評価するの、それとも保険収載では解析対象に含まれていなかった遺伝子変異が関与しているのか評価する必要があります。

このように保険収載による遺伝学的検査において「ヘテロ接合体」や「遺伝子変異を認めない」という結果となった場合、当科では信州大(宇佐美真一教授)との共同研究による追加の遺伝子解析を施行し、他の原因遺伝子変異を検出することで確定診断率を高め、より有用な遺伝カウンセリングにつなげることができるよう努めています。

このように保険収載による遺伝学的検査において「ヘテロ接合体」や「遺伝子変異を認めない」という結果となった場合、当科では信州大(宇佐美真一教授)との共同研究による追加の遺伝子解析を施行し、他の原因遺伝子変異を検出することで確定診断率を高め、より有用な遺伝カウンセリングにつなげることができるよう努めています。